

Kawasaki Ninja1000SX パニア対応マフラー (補足)

◎ 弊社パニアケース対応マフラーは、パニアケースに装着の遮熱板（純正マフラーの場合は取外して使用）が付いた状態で開発・テストを行い製品化されておりますが、Ninja1000SX 用パニアケースの品番変更に伴い、遮熱板が装着されなくなりました。遮熱板のみの入手が不可との事で、『断熱シート』を貼り排気熱でパニアケースが溶ける事を予防します。

遮熱板の装着を推奨いたします。

断熱シートの場合、渋滞時や気温の高い夏場では、遮熱板よりもパニアケース内（特に下面）の温度が上がる可能性がありますので、その点ご注意ください。



左写真の様に、断熱シートをパニアケース下面の形状に合わせてカットし貼り付ける。

2本出し(左右) 200×150mm 4枚

1本出し(右側) 200×150mm 2枚

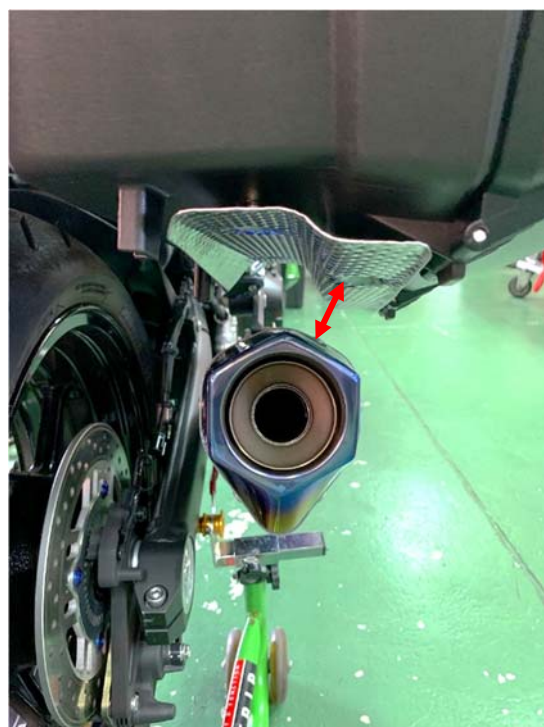
注：貼り付ける面は脱脂を十分に行ってください。

断熱シートを貼った状態

遮熱板を装着した状態



遮熱板よりもクリアランスが増える。
近すぎると熱くなるので注意！



パニアケースは荷物を入れると重量で下がりますので、赤色矢印ぐらいのクリアランスは確保して下さい。